銚子連絡道路三期（匝瑳市～旭市）

編集・発行
2026年11月版
千葉県海匝土木事務所
〒289-2144　匝瑳市八日市場イ1999
問合せ先　0479-72-1148







千葉県マスコットキャラクター　チーバくん

■ 事業の概要

・銚子連絡道路三期は、匝瑳市から旭市までの延長約13kmのバイパス道路です。

・銚子連絡道路一期、二期と飯岡バイパスおよび、事業中の八木拡幅が一体となり、山武市から銚子市間のアクセスの向上が図られます。

・銚子連絡道路によって、圏央道の整備効果を山武東総地域へ広く波及させ、県内外との交流・連携を強化し、地域経済の活性化や防災力を向上させることができるようになります。



事業区間	：匝瑳市横須賀～旭市イ
事業延長	：L=約13km
幅員(車線数)	：W=9.5m(2車線)
道路規格	：第3種第2級、設計速度 60km/h

■ 期待される整備効果

その1. 所要時間の短縮、定時性の確保

・一般国道126号を横芝光ICから飯岡BP入口まで車で通行すると、現状で約40分かかっています。

・二期および三期が整備されることにより約18分となり、約22分短縮されます。

・信号が連続する市街地を回避するため、発進・停止の回数が減少し、移動時間の定時制が確保できます。

◆通行経路による所要時間



◆地元の組合の声（JA ちばみどり R7.6 ヒアリング）



信号が少なくなり、通勤時間帯は移動がスムーズになりました。
銚子連絡道路三期区間の開通により、銚子方面へ往来するトラックは更なる時間短縮が期待されます。

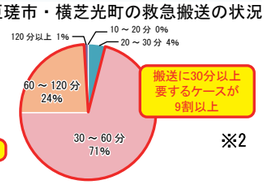
その2. 救急医療活動の支援

・旭中央病院（第3次救急医療施設）へのアクセス性が向上するため、円滑な救急医療活動や活動区域の拡大が期待されます。

◆救命救急施設の設置状況



◆匝瑳市・横芝光町の救急搬送の状況



◆銚子連絡道路の整備による効果



◆沿線市の声（匝瑳市横芝光町消防組合 警防課 R7.5 ヒアリング）



銚子連絡道路、横芝光 IC へのアクセスがよくなり、上り方面への救急搬送がしやすくなりました。また、旭中央病院から、横芝光消防署への（引揚げ時の経路の）アクセスがスムーズになりました。
3 期区間の整備により、旭中央病院への搬送時間が短縮することを期待します。

その3. 災害時等における道路通行機能の強化

・現道の国道126号と銚子連絡道路によるダブルネットワークが形成されます。

・これにより、事故や災害発生時にどちらかの道路が通行止め・規制がかかった場合でも通行機能が確保されます。

・銚子連絡道路は高規格道路としてつくられるため、災害でも壊れにくいバイパス道路です。



◆地元行政関係者の声（R3.5 ヒアリング）



支援物資の搬送や応援部隊の輸送などは国道 126 号を利用しますが、混雑が多く到着遅延の要因となっています。（旭市役所）
整備により、支援物資の搬送や応援部隊の輸送にかかる時間短縮が可能になります。
旭市は東日本大震災で被害を受けました。将来、災害が発生した際に、素早い支援の受け入れが可能になります。早期実現に期待します。（旭市消防本部）

その4. 交通の円滑化・安全性の向上

・現道の一般国道126号から三期区間へ交通が転換し、現道の交通混雑が緩和が期待されます。

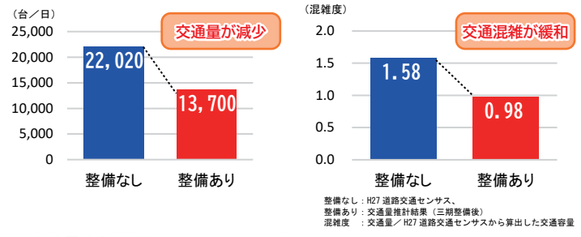
・渋滞に起因する追突事故が減少し、安全性の向上が期待されます。

◆現況の渋滞状況





◆三期区間整備前後の交通量・混雑度（国道 296 号入口交差点付近）



◆地元企業の声（R3.2～3 ヒアリング）



渋滞で所要時間が読み難いため国道 126 号の利用を控えがちです。混雑緩和は重要です。銚子連絡道路の早期の整備を望みます。

※1　二次保健医療圏と救命救急センター及び救急基幹センターの配置状況
出典：千葉県「千葉県保健医療計画平成 30 年 4 月版」、「救命救急センターの指定について令和元年 6 月版」
※2　出典：令和元年版消防防災年報
※3　出典：R3 道路交通センサス昼間 12 時間平均、ナビタイムデータ（R6.7 昼間 12 時間平均）、R2 国勢調査
＊現道に関しては、R3 道路交通センサス昼間 12 時間平均旅行速度を使用、二期区間に関しては、ナビタイムデータを使用、三期区間は二期区間の速度を三期区間に案分し、算出
＊圏域人口は R2 国勢調査データより算出